

<目指す学校像>
生徒が「日本一だ」と誇りをもって卒業することができる学校

<学校教育目標>
志高く 心豊かな生徒
主体的に学び、考える生徒
たくましく生きる生徒

熊谷東中学校だより
第4号
しののめ

東雲

令和4年7月19日発行

4つの実践

- 朝ごはんをしっかり食べる。
- 呼ばれたら「はい」と元氣よく返事をする。
- 「ありがとう」「ごめんなさい」と言う。
- 友だちをたくさんつくる。

3減運動

- テレビの時間を減らします。
- ゲームの時間を減らします。
- スマートフォン・携帯電話やパソコンに触れる時間を減らします。

スマホ使いの注意

2021

自分や周りの人の情報を管理する。・

他人を褒めたり励ます。・

・

・

熊谷市立熊谷東中学校校長 伊藤 幸男

考えを切り換える

～やらされていることを、自分自身からできるように気持ちを切り替えましょう～

熊谷市立熊谷東中学校長 伊藤 幸男

例えば、タベ食べたすき焼きが、何時間か後には自分の体に働くエネルギーになったり身体の部分になったりしています。考えると不思議なものです。同じように、タベ観たテレビ、朝読書で読んだ本、そういう自分の頭の中に入り込んだ刺激が、自分の大脳に何かしらの影響を与えて、“自分になって”います。自分では気付きませんが、自分の中に残るものとはそういうものです。

パソコンや携帯電話を利用してインターネットサーフィンばかりしていれば、大脳にネットにある画面の刺激しか入ってこないのです。SNSばかりに気を取られていれば、書き込みすることや書かれた内容に関する関心は増えるかも知れませんが、あとはダメなのです。物を食べるのに偏食があるように、大脳に入ってくる刺激にだって偏りがあるのです。同様に、教室で同じ授業を受けても、受ける構えによって、大脳に入ってくるきかたが違います。人の話をいやいや聞いているのと、積極的に何かを得ようとして聞いているのとで、到底同じにはなりません。



ロボット工学が専門でユニークな発想で知られ東京工業大学名誉教授の森政弘先生は、こんなことをおっしゃっています。「……この世の中に自分から進んで生まれてこようとして生まれてきた人は一人もいません。生きていておもしろいこともあるし、おもしろくない時もあります。特に中学生や高校生くらいになると、いつも大しておもしろくないと思っている人が多いでしょう。『常に親や先生から、ああしてはだめだ、こうしてはいかんとか言われてしまう。遊びたいのに勉強しろとか、自分の気持ちに反することはばかりでおもしろくない。』と思っている。だから仕方なく、いやいや生きている。それも親のすねをかじっているうちはいいとして、いずれ自分は独り立ちしなくてはならない。それには職をもたなければならぬし、それに学歴が高い方が有利だという。だから、嫌々ながら高校へ行っている人もいるのではないのでしょうか。これからはさらに医学や医療が発達し、寿命は延びる。もしいやいや生きていたら、寿命が長くなった分だけ、いやいやの期間が長くなって、ますます大変になる。このまま君達は、いやいや生きていくつもりですか。それこそ一番アホらしいことと思いませんか。死ぬ時だってそうです。ほとんどの人は死にたくないのに死んでいくのではないのでしょうか。つまり、生まれるのも死ぬのも、自分の意志などではないのです。本当のことをいうと、この世には自分の意志のままになるものなど何もないと言っていいのではないのでしょうか。

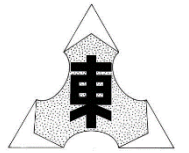
だからここで考え方を全く変えてしましましょう。それは、誰かにやらされていることを、自ら進んでやるように気持ちを切り換えるということです。そうするとおもしろい世界が展開します。やらされる勉強を自分から喜んで進んでやる勉強だと気持ちを切り換えられる人が、自己がしっかりしている人なのだと思います。いつまでも『おもしろくない』『どうせ、嫌いなものだから仕方ない』などとすねていては、何の進歩もありません。そればかりかそれは実に愚かなことです。考えの切り換えができる、それまでの不満が逆転して、生かされているという感謝と喜びに変わるものです。その時、君は活力がみなぎって、愉快になり、やる気満々になるのです。この考え方の切り換え、これが実に大切なことなのです……」。

森先生のアドバイスは実に適切です。長い夏休みに入りますが、ぜひ皆さんにはこれまでの考え方を切り換え、新たな心構えて充実した夏季休業日を過ごしてほしいと思います。また、引き続き、感染症、熱中症、交通事故には気をつけてください。





熊谷東中歳時記(7月)



非行防止教室【7月5日(火)】



熊谷警察署の方を講師としてお招きし開催しました。生徒が記入した感想を紹介します。

一番印象に残った内容は、インターネット上に掲載する写真のお話です。写真一枚でそこにうつっている制服、賞状、窓から見える景色などで自分が通っている学校やその名前、住んでいるところが分かってしまう可能性があり、怖いと思いました。自分の身は自分で守るとともに、不安なことがあったらすぐに近くの人に相談します。

県大会壮行会【7月7日(木)】陸上、ソフトボール、バレーボール、柔道、剣道、器械体操、水泳、ラグビー



どの運動部活動も、学校総合体育大会熊谷市予選会で精一杯がんばりました。県大会の切符を手にした部にエールを送りました。熊谷東中学校の名を背負い、ラスト1秒まで戦い抜いてください。

支援籍学習【7月8日(金)】



ノーマライゼーションの理念に基づく教育を推進する観点から、本校で支援籍学習を実施しています。障害のある生徒に対する差別や偏見を取り除く「心のバリアフリー」をはぐくむことがねらいです。

この日は、音楽の授業を熊谷特別支援学校3年生の生徒と、本校3年1組の生徒と一緒に受けました。

1年生林間学校(那須甲子青少年自然の家)【7月11日(月)~7月13日(水)】



今年度3つ目の宿泊行事である1年生林間学校が無事終了しました。天候の影響により、計画していた内容を一部変更しましたが、行った先での体調不良者が出ることなく帰ってくることができました。学習したことをこれからの学校生活に生かしていきましょう。